

老年看護学

(令和4年度1年生用)

専門分野

授業科目	高齢者看護へようこそ	講師	氏名 兼本 恵美		開講年次	単位・時間		
			所属	専任教員				
			実務経験	臨床看護師	1年次 前期～後期	1単位 30時間		
科目のねらい	今後も高齢化はさらに進み、老年看護学の果たす役割はますます大きくなっている。ここでは老年期の理解、高齢者看護の基本、ヘルスプロモーション、高齢者の日常生活の実践についての考え方を中心に学ぶ。学生のみならず教員も自身で体験していない年齢の人を対象とした看護であるため高齢者の疑似体験や高齢者へのインタビューを通じ、それらの理解を深め、看護を実践する基礎的能力を養う。また、地域で生活する高齢者の現状と課題を知り、社会貢献活動に繋げる。							
到達目標								
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者のQOLを理解し、QOLを向上させる関わりについて説明できる。 2. 高齢者に関する身体的・精神的・社会的な特徴について説明できる。 3. 高齢者看護の倫理と自己決定の支援について説明できる。 4. 高齢者に対する虐待と実態とその背景、対応の必要性と方法を説明できる。 5. 高齢者のヘルスプロモーションの必要性について説明できる。 6. 高齢者を看護する専門職に必要な態度を説明できる。 7. ロールプレイを通じ、高齢者とのコミュニケーションスキルを実践できる。 							
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例を通じ、介護予防（転倒予防、認知症予防）プログラムを考えることができる。 2. 事例を通じ、高齢者看護におけるチームアプローチを考えることができる。 3. 転倒時のシミュレーションを通じ、転倒時に必要な看護を実践することができる。 4. 加齢に伴う身体的・精神的・社会的役割の変化による生活への影響を考えることができる。 							
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の生活史や地域で生活する高齢者の現状を事前に調べ、まとめることができる。 2. 高齢者の定義や人口の高齢化、死亡率・死因について復習できる。 3. グループワークでメンバーの意見を受け入れながら活発な意見交換をすることができる。 4. ロールプレイの事例の役割を演じることができる。 							
科目評価	定期（筆記）試験50% 単元別テスト10% ロールプレイ20% 課題レポート20% 合計100%							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害（メディカ出版）							
参考文献	系統看護学講座 老年看護学（医学書院） 高齢者白書（厚生労働統計協会）							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活史を通じた理解 1) 老年期の発達課題 2) 喪失体験 3) 高齢者の多様性 2. 加齢と老化	○			兼本 恵美	文化人類学 医療人類学	課題レポート 事前に地域のコミュニティーセンターに出向き、高齢者の生活史をインタビューする。 グループワークで生活史の理解を深める。	
2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康寿命 1) 高齢者にとっての健康維持・増進の意義 2) 有訴者率と通院者率、受療行動 高齢者の受診行動の特徴 3) 長寿とサクセスフルエイジング 4) 高齢者の自立を妨げる要因（老年症候群、フレイル、サルコペニア、要介護の原因、運動機能の低下、廃用症候群） 5) 介護予防への対応 	○				公衆衛生	単元別試験 高齢者の定義や人口の高齢化	
3								
4	高齢者疑似体験		○				からだの構造 からだの機能 日常生活から見るからだ	アーツルーム、体操服
5	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理・社会的変化 1) エイジレス・セルフ 2) パトラーによる老年期に共通する心理的な特徴 	○					発達心理学	
6	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者にとってのQOL 1) プロダクティブエイジング 2) 高齢者のQOLに影響を与えるもの（老年観、高齢者の尊厳と人権擁護） 3) 高齢者虐待と身体拘束 4) 高齢者に用いられるQOLの指標 	○					倫理学 家族看護論 健康教育	課題レポート 予防プログラムの作成
7	<ol style="list-style-type: none"> 2. 社会活動の促進、社会参加（療養生活におけるレクリエーション） 1) 老性自覚、社会的衰退理論と社会的再構成理論 3. 高齢者の生活と家族 	○						
8	事例検討「高齢者看護におけるチームアプローチ」	○					健康教育	グループワーク
9	転倒時のシミュレーション		○				医療現場のコミュニケーション 医療安全 フィジカルアセスメント	白衣、アーツルーム
10	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者看護の特性（看護をする者の態度） 1) エンド・オブ・ライフ・ケア 2. 終末期の看護 	○					成人看護学（終末期）	単元別試験 死亡率・死因、死亡場所
11	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者のリスクマネジメントの骨幹はケアの質向上 2. 高齢者の理解とコミュニケーション 1) 聴覚障害 2) 視覚障害 	○					医療現場のコミュニケーション	
12	コミュニケーションの実践		○					ロールプレイ（アーツルーム）
13	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢と老化 2. 老化理論 3. 身体機能の生理的变化、セクシャリティ 	○					からだの構造 からだの機能 日常生活から見るからだ	
14	<ol style="list-style-type: none"> 4. 認知能力の変化 5. 高齢者に起こりやすい疾患の特徴 							
15	地域で生活する高齢者の現状と地域貢献活動を考える	○					文化人類学	グループワーク
備考	臨床（病院）での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。							